



# かがやき



学校教育目標：豊かな人間性と確かな学力をもち、自ら伸びる子どもの育成

やさしく

かしこく

たくましく

《No. 13》 令和7年3月3日

## 10才のつどい(4年生)

2月19日(水)4年生は、たくさんの保護者にご参加いただき、「10才のつどい」を行いました。10歳という年齢は、子どもの成長を考えた上で、とても大切なひとつの節目となります。4年生の児童には、このセレモニーをきっかけとして、生まれてから今日までの10年間を振り返り、自分の成長を支えてくださった周りの皆さまに感謝の気持ちをもつとともに、これからの自分の将来について考えるきっかけにしてほしいと考えました

会の目的を明確にし、内容や構成も自分たちで考えていきました。これまでは、「二分の一成人証書」を校長から渡していましたが、今回は子どもから保護者の方へ「感謝状」を贈り、感謝の気持ちを伝えました。

保護者の方からお子さんへお手紙を読まれたとき、涙を浮かべる子が何人もいました。素直に涙を流せる子、友だちにそっと寄り添える子、素晴らしい4年生です。とても素敵な「10才のつどい」でした。



サプライズのくす玉。みんなの思いが強すぎて、落下のハプニングも!?

## シイタケの植菌(3年生)

学校の裏手には、校歌にも登場する尾首山があります。2010年の秋から地域の皆さんが、子どもたちが楽しめる遊び場を作ろうと、尾首山憩いの森づくり実行委員会を立ち上げ、鬱蒼とした森を整備したり、安全に遊べる遊具を設置したりして楽しい場所が作られました。

2月20日(木)には、その森で3年生がシイタケの植菌にチャレンジしました。7名の方にご協力いただき、長さ約1mほどの原木にドリルで穴を開け



種ごまを木づちで打ち込む植菌の作業を行いました。シイタケができるのは、3年後だそうです。最初は、恐る恐るの作業でしたが、やさしく教えていただき、みんな怪我なく楽しんで活動できました。

貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



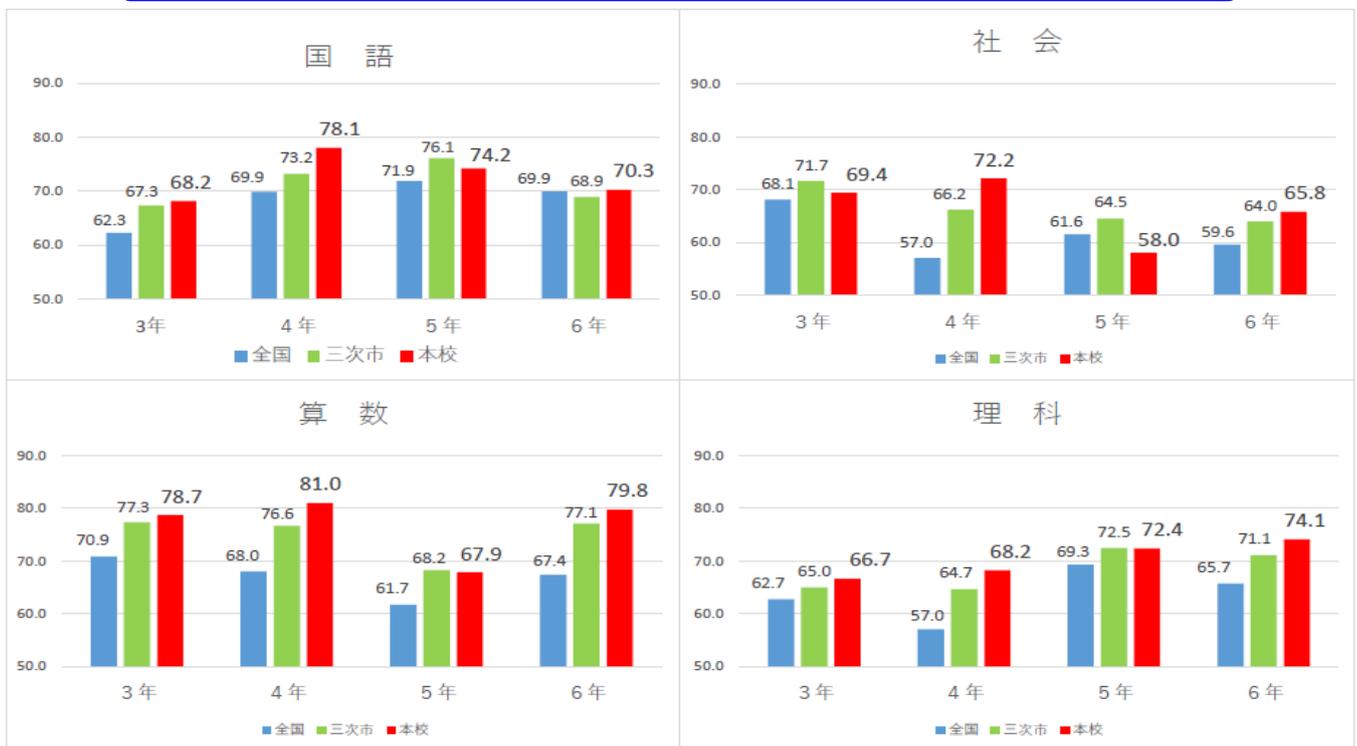
# 令和7年度児童会執行部

来年度の児童会執行部が決定しました。来年度も児童会執行部、委員会の活動は、1年間を通してじっくり取り組むことを目的とし、前・後期での改選は行いません。また、最高学年としてしっかり児童会を引っ張っていく自覚を醸成するため、執行部は現5年生からのみの立候補としました。

それぞれの児童が強い思いをもって令和7年度の神杉小学校を引っ張ってくれます。現5年生11名で力を合わせて、安心して学べる楽しい学校をめざしてがんばってほしいと思います。役員名・めざす学校を紹介します。

会 長	めざす学校
****	楽しい明るい学校
副会長	めざす学校
****	大きな声で気持ちの良いあいさつをし、静かに掃除ができる学校
役 員	めざす学校
****	みんながいつもルールを守り、けがが少ない学校
****	5分前行動ができる学校と、しっかりあいさつのできる学校

## 令和6年度 三次市学力到達度検査 結果について



5年社会科を除き、全ての学年が全国平均を上回りました。概ね、該当学年までの学力が身に付いていると捉えています。特に、算数については、全国・三次市平均を大きく上回る学年もあり、学校としての教科研究に加え、三次市全体で取組を進めた「みよし結芽人育成研修」の成果と捉えています。

各教科の結果分析を行い具体的な取組を考え、さらに学力を定着・向上させるための授業改善を行っていきます。また、個々の課題につきましても分析を行い、個別に指導を行っていきます。

結果につきましては、本日、お子さんに持ち帰らせますので、ご家庭におかれましても頑張っているところをしっかりとほめ、もっと頑張ることは何かを話し合ってみてください。

### 学校からの お礼

今年度も「子どもの学び応援団」の募集をし、多くの保護者の皆さんにたくさんのお力をお借りし、子どもたちの学習活動のサポートをしていただくことができました。家庭科のミシン実習や毛筆の授業等、子どもの学びにとって、本当に大きな応援の力となりました。(延べ 37名)

心より感謝申し上げますと同時に、来年度も引き続き、ご協力をお願いいたします。